

## 呼吸器内科研修プログラム

### 1. プログラムの目標

- 日本呼吸器学会によって定められた研修カリキュラムにのっとり，呼吸器専門医として必要とされる知識・技能・診療能力を習得する．
- プログラム終了後に，呼吸器内科専門医受験資格を得る．

### 2. 指導スタッフ

- 指導責任者：柴田和彦（日本呼吸器学会認定指導医）

### 3. プログラムへの参加資格

- 2年間の初期研修後，1年間の一般内科研修を修了し，内科認定医試験を受験予定である者．またはすでに内科認定医資格を有する者．
- 非喫煙者である事（虚偽申告は許されない）

### 4. プログラムの修了年限

- 本プログラムの修了年数は3年間とする．希望により，2年間までの延長が可能である．
- 終了後，研修中の診療態度等を参考に，当院の呼吸器内科専門医として就職する事が可能である．また，金沢大学呼吸器内科・大学院等での臨床研究・基礎研究に従事する事も推奨する．

### 5. プログラムの内容

- 総論：以下の項目につき，独立して実施可能となるようにする．
  - i) 胸部 X 線および CT の読影
  - ii) 気管支内視鏡検査（末梢病巣擦過，経気管支生検，気管支肺胞洗浄を含む）
  - iii) 胸腔穿刺および胸腔ドレナージ
  - iv) 呼吸機能検査の実施と判定・解釈
  - v) 睡眠呼吸モニターの判定
  - vi) 呼吸管理（酸素療法，気管内挿管，人工呼吸管理，在宅呼吸管理）
- 各論：以下の疾患につき，複数の患者を担当し，診療能力を獲得する．

- i) 気道感染症：急性上気道感染症，急性気管支炎，慢性気道感染症
- ii) 市中肺炎（マイコプラズマ・クラミジア・レジオネラによる肺炎，肺化膿症を含む）
- iii) 嚥下性肺炎
- iv) 肺真菌症
- v) 肺結核
- vi) 肺非定型抗酸菌症
- vii) 日和見感染症（カリニ肺炎，ノカルジア症など）
- viii) 慢性閉塞性肺疾患
- ix) 気管支喘息
- x) 特発性間質性肺炎（肺線維症）
- xi) 特発性器質化肺炎，慢性好酸球性肺炎
- xii) アレルギー性肺疾患（過敏性肺臓炎，薬剤誘起性肺炎など）
- xiii) 塵肺症
- xiv) 肺循環障害
- xv) サルコイドーシス
- xvi) 全身性疾患に伴う肺疾患（膠原病肺など）
- xvii) 睡眠時無呼吸症候群
- xviii) 肺癌
- xix) 胸膜炎
- xx) 縦隔腫瘍

\* 特に重点となる疾患に関しては，下線で示した。

- 常時 10 名程度の患者を主治医として担当する
- 剖検，手術目的の転科例を年 1 例以上担当する．
- 日本呼吸器学会地方会・日本肺癌学会地方会・日本内科学会地方会等において症例報告を中心とした学会発表を年 2 回行う．
- 学会発表した内容を，論文にまとめる．最低 2 編の筆頭著者での論文作成を行う．
- 週 1 回の呼吸器カンファレンスで症例検討を行う．
- 月 1 回の胸部外科・放射線科・病理科との合同カンファレンスで，胸腔鏡下肺生検例・肺癌手術例の検討を行う．